課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション

日本語はそのプロセスで学べる

グローバル時代の今、日本語は仕事の手段となりました。日本語教師がことばを教えるだけでは、学習者も企業も満足しません。グローバルビジネスを担う人材育成の視点が不可欠です。

本テキストは、学ぶことを可視化したCan-do statementsを用いたはじめてのビジネスコミュニケーションのテキストです。日本人のビジネスコミュニケーション教育にも利用できます。

主な内容

●企業の求める人材を知る

①企業ガイダンスを聞いて理解することができる。
②会社概要を読んで理解することができる。
③就職のための提出書類（エントリーシート等）を書くことができる。
④面接で自己アピールができる。

●企画を立てる

①会議の内容を聞いて、要点を理解できる。
②グラフを見て、現状を説明できる。
③会議の内容を整理して報告できる。

●居酒屋でコミュニケーションを図る

①カジュアルな場面で話の目的や提案の内容を理解することができる。
②カジュアルな場面で人間関係を考慮しながら、
　会話を維持することができる。
③職場で生じた問題や悩みについて相談することができる。

●企画を具体化する

①SWOT分析についての記事を読んで要点を整理できる。
②SWOT分析の結果を読んで理解することができる。
③商品を位置づけ、マーケティング戦略について議論ができる。

●プレゼンテーションをする

①アイディアや問題を整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を準備できる。
②分析結果をもとに、上司にプレゼンテーションできる。
③プレゼンテーションの内容を踏まえて質問や提案ができる。

●新聞記事から情報を収集する ： 買収
●新聞記事から情報を収集する ： 戦略
●新聞記事から情報を収集する ： 業績

①新聞の見出しや図表を見て、記事の概要が推測できる。
②記事の内容から、必要な情報をみつけることができる。
③読んだ内容を理解し、簡単に報告することができる。　　その他 語彙練習等

課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション　¥2,500（税抜き）　ISBN 978-4-89991-263-7

初版発行　2012年 8月 8日
著　　者　近藤彩、品田潤子、金孝卿、内海美也子
発 行 所　近藤研究室　〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1 政策研究大学院大学 内
発 売 所　アプリコット出版株式会社

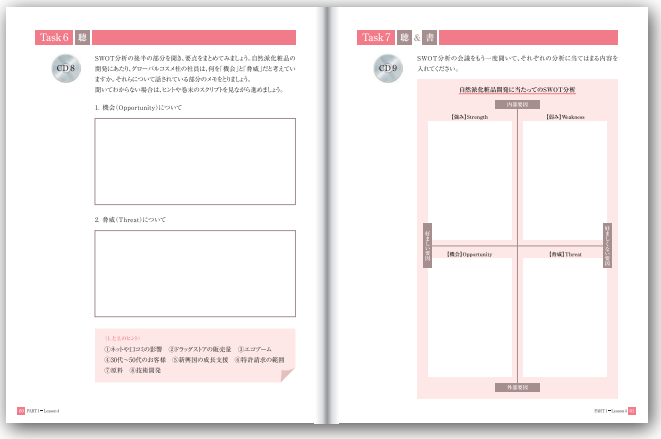
問い合わせ先
テキストの使い方ワークショップを行います。出張ワークショップも承りますので、お問い合わせください。
ビジネスプロセス研究会（近藤研究室内）【Email】info.businessprocess@gmail.com

これまでの教師向けワークショップ（SWOT分析）での感想

●仕事でよく使われる経営手法が学べて役立った。

●SWOT分析について知らなかったが、実際に経験することができて、明日からの授業に取り入れようと思います。

●企業分析をしていくことで、自分自身に自信を持つことができました。
日本語がどのように使われているかについて観察されたことも非常に役立ちました。貴重な機会を与えていただき本当にありがとうございました。



これまでにテキストを使用した学習者の感想

台湾…… 日本人と仕事をしてきたが、これまであまり日本語に自信がなかった。このテキストを使って会議やプレゼンテーションなどに自信をもつことができた。語彙が豊富で繰り返し出てくるので本当に役立った。

ベトナム… 企業訪問や自己アピールのタスクなどがためになった。Lesson3の居酒屋での会話もおもしろかった。Part1で学んだ語彙をいかしてPart2の日本経済新聞を読むことができたときはとてもうれしかった。

中国…… 多くの聴解があるのが非常にいい。私は書類を読んで理解することがある程度問題なくできるが、会議やプレゼンの聞き取りが苦手だったからだ。生の会議やプレゼンが聞けてよかった。

USA…… これまで授業のときに、プレゼンはたくさんやってきた。しかし、日本人のプレゼンテーションを聞いたことがなかった。パワーポイントがすべてあるので、自分が作る時の参考になりとても役立った。

カナダ…… Lesson4とLesson5を勉強しました。Lesson4のSWOT分析は役に立つと思います。日本語で会社の現況を分析し、説明することができるようになったからです。プレゼンテーションが好きなので、レッスン5が非常に好きです。レッスン5のおかげで自然にプレゼンができるようになったと思います。

本テキストを使用した教師の感想

●口頭表現の授業で使用しました。豊富なタスクがあり使いやすかったです。プレゼンテーションの枠組みがきちんとあり、CD-ROMにも同じものが入っているのでそれを使って学習者がプレゼンの練習をすることができました。

●まったくビジネス日本語を勉強したことがない学生も、半年間の大学の授業で会議、SWOT分析、プレゼンができるようになりました。